

## 第5学年国語科 学習指導案

平成26年10月29日(水)より

5年1組(男子14名 女子10名 計24名)

5年2組(男子14名 女子9名 計23名)

授業者 T1 渡邊 智穂

T2 土居 彩香

T2 松浦 愛

- 1 単元名** 自然と人間のかかわりについて興味を持ったことを調べよう  
～「おかげ」でつながろう 「〇〇のおくりもの」報告会をしよう～

**教材名** 「森林のおくりもの」(東京書籍5年下)

### 2 単元の目標

○人間を取り巻く自然について関心を持って学習に取り組み、報告しようとしている。(関心・意欲・態度)

○「〇〇のおくりもの報告会」で報告するために興味のある自然からのおくりものについて文章の内容を押さえて要旨をとらえたり、事実と感想、意見などとの関係を押さえながら読むことができる。

(C 読むこと ウ)

○「〇〇のおくりもの報告会」で報告するために、複数の本や文章を選んで比べながら読むことができる。

(C 読むこと イ)

○文や文章にはいろいろな構成があることについて理解することができる。

(言 イ (キ))

### 3 単元について

#### (1) 単元観

##### ①本単元で取り上げる主な指導事項

小学校学習指導要領・国語の第5学年及び第6学年「C 読むこと」の指導事項「ウ 目的に応じて、文章の内容を的確に押さえて要旨をとらえたり、事実と感想、意見などとの関係を押さえ、自分の考えを明確にしながら読んだりすること」「カ 目的に応じて、複数の本や文章などを選んで比べて読むこと。」を取り上げて指導する。

##### ②単元を貫く言語活動とその特徴

「C 読むこと」の言語活動例「イ 自分の課題を解決するために、意見を述べた文章や解説の文章などを利用すること」を具体化した、「自分のくらしと自然とのかかわりについて書かれた本を読み、『〇〇のおくりもの報告会』でクラスの友だちと交流する」という言語活動を位置付ける。

ここで取り上げる『〇〇のおくりもの』報告会とは、自然と人間のくらしとのかかわりについて、自分が興味を持ったことについて調べ、「おくりもの」という言葉をキーワードにし、自然からどのような恩恵を受けているのかを報告し合うというものである。報告会は単独で行わず、グループを作り、グループごとにどんな報告をするのか担当者を分担して報告していく。また、並行読書を行うことで、児童は、自分が興味を持った海や川、里山等の自然について書かれた本を読んでいく。その際、教材文で学んだことをもとに、わたしたちの生活にそれらが大きく関わっている場面(利用のされ方)や仕組み、働きを中心にまとめていくことで「イ 自分の課題を解決するために、意見を述べた文章や解説の文章などを利用すること」(C 読むこと ウ)を確実に実現できるようにしている。また、『〇〇のおくりもの報告会』に向け、文章に書かれている話題、理由や根拠となっている内容、構成の仕方について読むことは、「ウ 目的に応じて、文章の内容を的確に押さえて要旨をとらえたり、事実と感想、意見などとの関係を押さえながら読むこと」につながる。また、筆者の述べ方を参考にしながら報告会で報告するために、自分の興味のある自然について書かれている本

や資料の中から必要な情報を取り出すことは、「イ 目的に応じて、本や文章を比べて読むなど、効果的な読み方を工夫すること。」についても実現できるようにしている。

本教材は、森林が私たちの暮らしに深くかかわっていることに気づき、限りある資源をまわる大切さを捉えることができる教材である。文章構成も、始めに問いの形で問題提起をし、それに答える形で具体的に論述されているので、事実と筆者の意見などの関係も押さえることができる。また、教材文で学習したことをもとに身の回りの自然にも改めて目を向け、自然の恩恵を明確にしたうえで、感謝の思いと共に学んだことを自分たちの暮らしにいかす活動にもつなげていけたらと考えている。

## (2) 児童観

児童は、4月の説明文「動物の体と気候」の中では、それぞれの段落に何が書かれているか考えて、段落と段落の結びつきに気をつけながら、文章全体を5つのまとまりに分けた。そして、文章構成図を作成した後、要旨の読み取りを行った。また、9月には「資料を読んで考えたことを書こう」の単元において、資料を生かして自分の読み取ったことを書く活動を行った。その際、考えたことや感じたことも入れて書くことをしどうしてきた。更に、学習後も6年生が取り組んでいる「見つめる目」を参考にし、新聞の記事についての意見文を書くことにも週に一回の割合で取り組みを始めたところである。継続して指導していきたい。

今年度4月の全国学力調査の結果を見ると、どの領域においても全国を上回っていた。児童の実態はどの学習課題に対しても、真面目に取り組むことができるが、読む力に個人差がある。さらに自分の考えに自信を持たず、交流の際、積極的に伝えることや、友だちの意見と比べながら聞こうとする姿勢が弱い児童もいる。三次の報告会に向けて、グループ内で自分が集めた情報をもとにまとめていく段階で、積極的に活動を進めていくことができるように、グループの活動等についても意図して仕組んでいきたい。

## (3) 指導観

第一次では、教師が作成した「太陽のおくりもの」報告会の見本を紹介する。そして、この単元では、自然についてのいろいろな本を読んで『〇〇のおくりもの報告会』で交流するために、わたしたちの生活に自然がどのようにかかわっているのか（利用のされ方）や仕組み、働きを中心にまとめていく”という学習のめあてをもつ。

第二次では、教材文全体を大きくとらえ、序論、本論、結論を明確にしたうえで、文章構成について確かめながら書かれている内容をとらえる。本論①、②と本論を大きく2つに分けることによって、木材の利用と森林の働きについてまとめていることを確認する。さらに書かれている内容についても具体的に身近なことを例に挙げてのべていることにも着目させて報告会へ向けてまとめる際の参考にできるように仕組んでいく。特に本論①で学習した木材の利用の仕方から、「利用」という言葉に目を向け「～の利用の仕方」について調べたり、本論②で学習した森林の働きから「働き」という言葉に目を向け「～の働き」について調べたりあるいは「恵み」「恩恵」という言葉をキーワードに必要な情報を的確に集めていけるようにしたい。また、教材文の要旨をまとめる活動も行う。結論の中に要旨が入っていることを確認し、筆者の主張も意識しながら100字程度でまとめる。第二次の毎時間の後半には並行読書をしてきた中で自分の選んだ本を使い、その時間の学習を活用させてまとめることに関連させた情報を集めていく。必要なページには付箋をはって簡潔に何のことかメモ書きをする。グループでの活動は、報告する文章の本論の部分を分担し、100字～200字の字数制限を設けキーワードをもとに調べたことをまとめていくようにする。報告する文章の結論については、教材文を参考に自分たちのグループの主張、つまり恩恵を受けてきたことについての感謝や気づいたこと、改めて感じたことなどをまとめることができるようにしたい。書籍やインターネットで調べることについては、空き時間も活用して必要な情報を集めることも声かけし、児童が積極的に調べ三次の活動へ向かうことができるようにしたい。

第三次では、第二次での学習をもとに報告会へ向けてグループごとに練習を行い、自分たちの選んだ自然の恩恵をどのように受けているかを報告し合えるように話し合う活動を行う。そして、10時間目には班ごとに前に立って報告会を行う。今回は原稿にまとめたことを報告することがメインなので、報告する際、写真を見せたり本を開いたり、簡単なポスタ

一を見せたりすることは各班で補助的に行うようにする。また、グループでの活動の際も自分の見つけたこと、考えたことを積極的に出し合いグループでの活動の時間の充実を図り、児童の意欲化を図っていきたいと考えている。

#### (4) 研究テーマとの関連

主体的に児童が学ぶためには、児童自身が単元を通して学ぶ目的をもち、見通しをもって言語活動を展開していく必要がある。そこで、導入では、教師が書いた『太陽のおかげ』報告会の見本を見せ、単元のゴールイメージを具体的に示す。単元全体の学習の見通しを持たせることで目的意識をもたせ、自分にもできそうという思いを持たせて学習に取り組ませたい。児童は、並行読書で森林や川、海について書かれている科学的読み物の中からそれらの働きや利用のされ方を探しながら読み、『〇〇のおくりもの』報告会』で報告するために主体的に学習を進めていくと考えられる。

#### 4 単元の評価規準

国語への 関心・意欲・態度	・人間を取り巻く自然について関心を持って学習に取り組み、報告しようとしている。
読む能力	・「〇〇のおくりもの報告会」で報告するために興味のある自然からのおくりものについて文章の内容を押さえて要旨をとらえたり、事実と感想、意見などとの関係を押さえながら読むことができる。(ウ) ・「〇〇のおくりもの報告会」で報告するために、複数の本や文章を選んで比べながら読むことができる。(イ)
言語についての 知識・理解・技能	・文や文章にはいろいろな構成があることについて理解することができる。  <div style="text-align: right;">イ(キ)</div>

#### 〈言語活動のモデル〉「太陽のおくりもの」

<p>海はなぜよこれてしまうのか トニー・ヘア 偕成社 1992 3月発行</p> <p>水の不思議をさぐる 七尾 純 おかね書房 2003 4月発行</p> <p>水といのち 七尾 純 あかね書房 2003 4月発行</p>	<p>これでわたしの報告を終わります。</p> <p>ものを上手に使いながら緑の星、地球を守っていかなくてはけません。</p> <p>線にこんな働きがあるからなのです。</p> <p>このように私たちは太陽のお世話になり続けてきたのです。私たちはこの太陽のおくり</p> <p>お家では布団を干すことがありますね。ダニや細菌のようなものが死んでしまうのは紫外</p> <p>代にも太陽の光を役立てています。それが、「太陽光発電」です。このエネルギーは、照</p> <p>明や暖房、農業などでも利用されてきました。</p> <p>この紫外線は生き物に当たると生き物の細胞を壊してしまいます。晴れた日にみなさんの</p> <p>太陽から届く光線の中に、「紫外線」というものがあります。皆さんは知っていますか？</p>	<p>太陽のおくりもの</p> <p>太陽光とは、太陽が放つ光のことです。植物やプランクトンは光合成によって必要な酸</p> <p>素やエネルギーを生み出しています。地球に住む人類も太陽の恵みと言われる日の光を受</p> <p>け取って来ました。</p> <p>古代から私達人間は、太陽を利用して暮らしてきました。例えば、物をかわかす、干す</p> <p>ということがあります。私たちは、ぬれた衣類をかわかすことや、土器(食べ物を入れる</p> <p>器など)を乾かして作るのに太陽の光を利用してきました。乾かして殺菌すると時に太陽</p> <p>の光を利用し、魚の干物など食物を干して作る乾物への利用もされています。また、野菜</p> <p>を育てる農業や、牛や馬を育てる畜産への利用もされました。さらに、私達人間は現</p>
---	--	--

## 6 単元構想図

### 単元を貫く言語活動

自然と人間のくらしとのかかわりについて、自分が興味を持ったことについて調べ、「おくりもの」という言葉をキーワードにし、自然からどのような恩恵をうけているのかを報告し合う。

#### ◇学習の流れ

##### 第一次

##### 並行読書

- 学習への意欲と見通しをもつ。
- ・指導者の「太陽のおくりもの」の報告を見て、報告会のねらいと方法を知る。
- ・単元のねらいを確かめる。

##### 第二次

- 教材文「森林のおくりもの」で構成や内容について理解する。
- ・教材文全体を大きくとらえ、既習を使って文章構成図に整理する。
- ・本論①、②にわけ、森林の利用と働きについて知る
- ・その時間の学習を生かし、並行読書でグループのテーマについて調べる。
- ・「森林のおくりもの」の要旨をまとめる。
- ・報告会へ向けて情報を集める。
- 報告会へ向けてグループで情報を持ちよりまとめる。

##### 第三次

- 『〇〇のおくりもの』報告会を開く。
- ・報告会へ向けて練習をする。
- ・クラスで「〇〇のおくりもの」報告会を開き、交流する。

#### 単元で付けたい力

- ・目的に応じて文章の内容を的確に押さえ、要旨をとらえたり考えをまとめたりする力

#### ◇意識の流れ

##### 【児童の実態】

文章の内容を的確に押さえ、求められている分量に合わせてまとめることが弱い。

- ・科学読み物の読み方を確かめよう。
- ・自然のおかげについての報告会なんだね。
- ・どの自然で報告会をしようかな。
- ・どんなことをまとめるのだろう。

- ・序論、本論、結論に分けてきたよ、みんなはどうかね。
- ・本論①は木材の利用のことだね。
- ・本論②は森林の働きのことだね。こんなこと知らなかったなあ
- ・並行読書で〇〇の働きをみつけたよ、付箋を貼っておこう。
- ・100字以内で要旨をまとめるんだね。筆者の主張も入れよう。報告会の文にも役立てよう。

- ・みんなに「〇〇のおくりもの」が伝わるように練習しよう。
- ・ここは分かりにくいから、付け足しが必要だね。
- ・すごい！こんなつながりを見つけたよ。

## 7 指導計画及び評価計画（全10時間）

	時	学習活動	主な評価規準
第一次	1	<p>これからの学習のめあてを知ろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・指導者の「太陽のおくりもの」の報告を見て、報告会のねらいと方法を知る。</li> <li>・自分のくらしと自然とのかかわりについて書かれた本を読み、『〇〇のおくりもの報告会』でクラスの友だちと交流する学習のめあてをもつ。</li> <li>・学習の流れを知る。</li> <li>・序論・本論・結論を確認する。</li> </ul>	<p>【関】「〇〇のおくりもの」報告会に向け自然と人間とのかかわりについてまとめることに着目して考えようとしている。</p> <p>（発言・ワークシート）</p>
	2	<p>どんなことが書かれているか大きくつかみ、文章を整理しよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教材文全体を大きくとらえ、文章構成図に整理する。</li> </ul>	<p>【読】教材文を3つに分け、大まかな内容をつかんでいる。</p> <p>（発言、教材文、ノート）</p>
第二次	3	<p>本論①について木材の具体的な利用の仕方を考えよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本論①を読んで、具体的な利用の仕方をを見つけ、自分たちの暮らしに役立っていることを理解する。</li> <li>・並行読書で「～の利用」をキーワードに調べる。</li> </ul>	<p>【読】自分の考えを持つために、本論①について必要な内容をおさえている。</p> <p>（発言・話し合い・人物関係図）</p>
	4	<p>本論②について森林の具体的な働きを考えよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本論②を読んで森林の具体的な働きについて確認し合う。</li> <li>・「～してくれる」「めぐまれて」といった言葉に着目しながら読む。</li> <li>・並行読書で「～の働き」をキーワードに調べる。</li> </ul>	<p>【読】自分の考えを持つために、本論②について必要な内容を押さえている。</p> <p>（発言・話し合い・ワークシート）</p>
	5	<p>報告するために「森林のおくりもの」の要旨を100字～200字以内で分かりやすくまとめよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・結論の部分を100字～200字以内でまとめる。</li> <li>・並行読書で報告会に必要な情報を集める。</li> </ul>	<p>【読】報告会で自分のしらべたことを報告するために、必要な内容をおさえて要旨をとらえている。</p> <p>（発言・原稿用紙、）</p>
	6	<p>「〇〇のおくりもの」報告会へ向け情報を持ちより整理しよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・グループごとに「〇〇のおかげ」報告会へ向け、各自が集めた情報を持ち寄って、使いたい情報を整理するために話し合う。</li> <li>・学習の振り返りを書く。</li> </ul>	<p>【読】自分の課題を見出すために、いろいろな書籍を読み比べて、疑問や調べ事柄を明らかにして読んでいる。</p> <p>（発言・話し合い・ノート）</p>

7	<p>「〇〇のおくりもの」報告会へ向け伝えたいことをはっきりさせてまとめよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「利用」「働き」をキーワードにグループごとに分担しあって、文章を書く。</li> </ul>	<p><b>【読】</b> 自分の課題を解決するために、適読、多読などの多様な読み方の中から、効果的な読み方を選択して読んでいる。 (発言・話し合い・ノート)</p>
8	<p>「〇〇のおくりもの」報告会へ向けて利用や働きについて具体的にまとめられているか確認し、原稿を仕上げよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「〇〇のおくりもの」報告会へ向けての原稿をグループで仕上げる。</li> <li>・必要な資料を準備する。</li> <li>・仕上がったグループから練習を試みる。</li> </ul>	<p><b>【読】</b> 目的に応じて文章内容を的確に押さえて要旨をまとめている。 (発言・原稿)</p>
9	<p>「〇〇のおくりもの」報告会で言いたいことが伝わるように、報告の仕方を工夫しよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・これまで作成してきた原稿をもとに練習をする。</li> <li>・資料の提示の仕方、話す速さ、強弱などを工夫して練習をする。</li> <li>・伝わりにくいと感ずるところは改良する。</li> </ul>	<p><b>【読】</b> 本や文章全体を読み比べながら、目的に応じて文章内容を的確に押さえて要旨をまとめている。 (発言・原稿・行動観察)</p>
10	<p>「〇〇のおくりもの」報告会で自然と人間とのかかわりについて報告し合い、気づいたことを伝え合おう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・グループごとに自然と人間とのかかわりについて報告し合う。</li> <li>・報告会の後は、自分の気づきについて整理して書く。</li> </ul>	<p><b>【関】</b> 自分の課題を解決したいという願いを持ち、友だちの報告から情報を多面的に收拾しようとしている。 (報告・ノート)</p>

## 8 本時の学習（1／10）

目標 「〇〇のおくりもの」報告会で自分のくらしと自然とのかかわりについて報告し、友だちと交流するという学習のめあてをもち、教材文が3つに分かれることを確かめながら読んでいる。

### （1）展開

主な学習活動と内容	指導上の留意点（○） 評価（☆）支援（※）
<p>1 本時の課題をつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;">                     これからの学習のめあてを知り、「森林のおくりもの」の構成を確かめよう。                 </div>	<p>○これまでの家庭学習を振り返り、本教材に向けて意欲を持たせる。</p>
<p>2 課題を解決する。</p> <p>（1）教師のモデル「太陽のおくりもの」の報告を見る。</p> <p>（2）報告の内容について感想を出し合う。</p> <p>（3）学習の流れを知る。</p> <p>3 教材文を大まかにつかむ</p> <p>（1）教材文を3つに分け、確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ペア</li> <li>・全体</li> </ul> <p>4 並行読書をし、興味のある自然について書かれている本に出会う。</p>	<p>○並行読書とも絡ませながら、自然について興味を持たせた上でモデルを提示する。教師の作成した原稿を配布する。</p> <p>○内容や報告の仕方について自由に感想を出させる。</p> <p>○報告会で報告するために、「おくりもの」という言葉をキーワードにして人間が自然からどんな恩恵を受けているのかに着目しながら読んでいくという単元のめあてを明確にし、目的をもった読みを意識させる。</p> <p>○家庭学習をもとに教材文全体を、序論・本論・結論の3つに分けて大まかにつかませる。 ※3つについては家庭学習を参考に自分の意見をもって話ができるよう話型を示す。</p> <p>☆「〇〇のおくりもの」報告会で報告するために、自然と人間とのかかわりについてまとめることに着目して考えようとしている。 (発言・話し合い・教材文)</p>
<p>5 次時の学習について知る。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 10px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p><b>家庭学習</b></p> <p>本論を2つに分けてくる。 「森林のおくりもの」を丸ごと読んで考えたこと、感じたことをノートに書いてくる。</p> </div>	<p>○次時は本論を大きく2つに分け、文章構成図で確認することを伝える。</p>

## 8 本時の学習（2／10）

目標 筆者が文章で取り上げている内容を明確にし、文中の言葉を使って大まかにつかむことができる。

### （2）展開

主な学習活動と内容	指導上の留意点（○） 評価（☆）支援（※）
<p>1 本時の課題をつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>どんなことが書かれているか大きくつかみ、文章を整理しよう。</p> </div>	<p>○言語活動を確認し、ゴールイメージを共有する。 ○児童のノートを紹介し、意欲を持たせる。</p>
<p>2 課題を解決する。</p> <p>（1）序論、本論、結論について見出しをつける。</p> <p>（2）本論を二つに分け、確認する。</p> <p>（3）本論①、②について見出しを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・個人</li> <li>・ペア</li> <li>・全体</li> </ul> <p>3 並行読書をし、興味のある自然について書かれている本に出会う。</p> <p>4 学習の振り返りをする。</p>	<p>○序論については全体で確認した後、あと二つは自力で取り組む。</p> <p>○理由を出し合い、全員でたしかめる。</p> <p>○出てきた意見を整理しながら「利用」「働き」について書かれていることを全員で確認する。 ※見出しを書くことに迷っている児童には本論①の範囲と一緒に確認し、一言で言うとどんな題をつけるか尋ね、まとめるヒントとなるよう支援する。</p> <p>○全体で確認する時は、できるだけ友だちの意見について返していけるように意識して広げるようにする。</p> <p>○簡単な文章構成図を確認する。</p> <p>○自分のテーマの本を選んで読書するように声をかけ、意識して付箋もはらせるようにする。</p> <p>○めあてにそってノートに簡単に書かせる。 ☆教材文全体をつかむために、必要な内容について大まかに押さえて読んでいる。 (発言・話し合い・教材文)</p>
<p>5 次時の学習について知る。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 10px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p><b>家庭学習</b> 本論①についてどんなことが書かれていたのかノートに簡条書きに書いてくる。</p> </div>	<p>○次時は報告会へ向けてどんなことが必要なのか考えるために本論①について学習することを伝える。</p>



## 8 本時の学習（3／10）

(1) 目標 本論①について「木材の利用」という言葉をキーワードにしながらか、木材がどのように使われてきたのか見つけ、自分たちの暮らしに役立っていることを知る。

(2) 展開

主な学習活動と内容	指導上の留意点 (○) 評価 (☆) 支援 (※)
<p>1 本論①を音読する。</p> <p>2 本時の課題をつかむ。</p>	<p>○2分間音読の後、言語活動を確認し、ゴールイメージを共有する。</p> <p>○児童のノートを紹介し、これからのノート作りを意識させる。</p>
<p>本論①について、木材の具体的な利用の仕方を考えよう。</p>	
<p>3 課題を解決する。</p> <p>(1) 本論①についてどんなことが書かれていたのか出し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・個人</li> <li>・ペア</li> <li>・全体</li> </ul> <p>①木材としての利用</p> <p>②紙としての利用</p> <p>③火としての利用</p> <p>(2) 3つの大きな利用の仕方の中で、自分にとって一番驚きだったところや新たな発見だったところに線を引く。(青鉛筆使用)</p> <p>4 並行読書をし、興味のある自然について書かれている本に出会う。</p> <p>5 学習の振り返りをする。</p>	<p>○家庭学習をもとにして木材の具体的な利用について口頭で出させる。</p> <p>○本論①をさらに大きく分け森林の利用の仕方についてせまる。</p> <p>○3つのまとまりについて分けたいことを話し、前時のように短くノートにまとめさせる。</p> <p>※ナンバリングさせ、①はみんなでやり、あとの2つは自分で考えて書かせる。机間指導をして、まとまりを助言し使いたい言葉を聞きながら机間指導をする。</p> <p>○全体で確認する時は、できるだけ友だちの意見について返していけるように意識して広げるようにする。</p> <p>○本時の学習「～の利用」について調べることができるよう、意識して付箋をはらせるようにする。</p> <p>☆自分の考えを持つために本論①について必要な内容を押さえて読んでいる。 (発言・話し合い・ノート)</p>
<p>6 次時の学習について知る。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p><b>家庭学習</b></p> <p>本時のノートの書き方を参考にし、本論②についてどんなことが書かれていたのかノートに箇条書きに書いてくる。</p> </div>	<p>○次時は報告会へ向けてどんなことが必要なのか考えるために本論②について学習することを伝える。</p>

## 8 本時の学習（4／10）

(1) 目標 本論②について「森林の働き」、「ひみつの役目」という言葉をキーワードにしなが  
ら、森林の働きはどんなことか見つけ、新たなことに気づくことができる。

(2) 展開

主な学習活動と内容	指導上の留意点 (○) 評価 (☆) 支援 (※)
1 本論②を音読する。 2 本時の課題をつかむ。	○2分間音読の後、言語活動を確認し、ゴールイ メージを共有する。 ○児童のノートから本論②の小見出しを全体で 確かめ、めあてにうつる。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">             本論②について、森林の具体的な働きを考えよう。           </div>	
3 課題を解決する。  (1) 本論②についてどんなことが書か れていたのか出し合う。 ・個人 ・ペア ・全体 ①雨を受け入れると、地下へ送り込 み、下流へはき出す働き（役目） ②木の根がしっかりと土を抱えて 斜面にはりつく働き（役目） ③たえず土と養分をおぎなってく れる働き（役目）  (2) 3つの働きについて、自分が一番 驚いたことや、感心したことに線 を引く。  4 並行読書をし、興味のある自然につ いて書かれている本に出会う。  5 学習の振り返りをする。	○家庭学習をもとにしなが ら、前時同様、ノート に3つ整理する。  ○3つについては「～する役目」（5の1）、「～ する働き」（5の2）とまとめる。  ※ナンバリングさせ、①はみんなでやり、あとの 2つは自分で考えて書かせる。机間指導をして、 まとまりを助言し使いたい言葉を聞きながら机 間指導をする。 ○要約の要素が入るので、丸写しではなく、いる 言葉とけずる言葉を自分で判断することを伝える。 ○全体で確認する時は、できるだけ友だちの意見 について返していけるように意識して広げる ようにする。線を引いた理由もいえるようにす る。  ○本時の学習「～の働き」について調べることが できるよう、意識して付箋をはらせるようにす る。 ☆自分の考えを持つために本論②について必 要な内容を押さえて読んでいる。 （発言・話し合い・ノート）
6 次時の学習について知る。  <div style="border: 1px dashed black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <b>家庭学習</b>              結論について、自分はどう考 えるのか考えてノートに書い てくる。           </div>	○次時は報告会へ向けて結論の要旨をまとめる ことを伝える。

## 8 本時の学習（5／10）

(1) 目標 結論について、筆者の主張は何か考えながら、「森林のおくりもの」の要旨を100字以上200字以内にまとめることができる。

(2) 展開

主な学習活動と内容	指導上の留意点 (○) 評価 (☆) 支援 (※)
1 結論を音読する。 2 本時の課題をつかむ。	○2分間音読の後、言語活動を確認し、ゴールイメージを共有する。 「○○の報告会」へ向けて意欲化を図りながら、めあてにうつる。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">「森林のおくりもの」の要旨を100字以上200字以内でまとめよう。</div>	
3 課題を解決する。 (1) 結論についてどんなことが書かれていたのか出し合う。 ・今まで書いてきたことのまとめ ・筆者の伝えたいこと ・読み手への呼びかけ (2) 2時間目でつけた小見出しをもとに筆者の言いたいことを簡単に確認する。 ・森林ありがとう。 ・森林への感謝。 ・森林を大切にしなければいけない。 (3) 筆者の主張を入れながら結論の要旨を100字以上200字以内でまとめる。 ・個人 ・ペア ・全体 4 並行読書をし、興味のある自然について書かれている本に出会う。	○結論に書かれることはどんなことなのか全員で確認しあう。 ○筆者の言いたいこと、伝えたいこと →「筆者の主張」とおさえる。 ○2時間目の短冊を提示し結論につけていた小見出しを確認させる。 ※まとめることに迷っている児童には、小見出しや筆者の言いたいことは何かや、37段落から39段落まででどの言葉を使いたいかということをつたね、まとめていけるよう支援する。 ○全体で確認する時は、できるだけ友だちの意見について返していけるように意識して広げようにする。線を引いた理由もいえるようにする。 ○自分のテーマについて必要な情報を意識して集めることができるよう声をかける。 ノートにメモを取ることを声をかける。 ☆報告会で報告するために、結論について必要な内容を押さえて読んでいる。 (発言・話し合い・ワークシート)
5 次時の学習について知る。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; display: inline-block;"> <b>家庭学習</b>              本時の学習を振り返って国語日記を書いてくる。ノート半分以上。           </div>	○次時は報告会へ向けて情報を持ちよることを伝える。

## 8 本時の学習（6／10）

(1) 目標 ○○のおくりもの報告会へ向け、いろいろな本を読み比べて、自分のテーマに関する情報を取り出し、疑問や調べる事柄を明らかにして読むことができる。

(2) 展開

主な学習活動と内容	指導上の留意点 (○) 評価 (☆) 支援 (※)
<p>1 本時の課題をつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>○○のおくりもの報告会へ向けて情報を持ちより整理しよう。</p> </div>	<p>○前時の感想を読み、本時への意欲を持たせて単元の言語活動を確認する。</p>
<p>2 課題を解決する。</p> <p>(1) グループで各自が集めた情報を持ちより、報告会で伝えたい事柄を整理する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全体説明</li> </ul> <p>(2) 今日の成果をグループで確かめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・グループ</li> <li>・全体</li> </ul> <p>3 学習の振り返りをする。</p>	<p>○「○○の利用の仕方」「～の役目」「○○の働き」という前時までの言葉をキーワードにその自然から恩恵を受けていることに着目させる。</p> <p>○ノートへ抜き出して書いたり、付箋を付けて分かりやすくグループへ整理することを声をかける。</p> <p>○利用にはこんなものがある、働きにはこんなことがあるということをみんなで持ち寄ることで、誰がその記述の担当になっても書くことができるように見通しを持たせて作業を進めさせる。</p> <p>○国語日記を書いてめあてにそって今日の学習を振り返る。</p> <p>☆自分の課題を見出すために、いろいろな書籍を読み比べて、疑問や調べる事柄を明らかにしながら読んでいる。 (発言・話し合い・教材文)</p>
<p>4 次時の学習について知る。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 10px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p><b>家庭学習</b> 自分のテーマ（課題）にそった事柄で新たな発見と、調べて感じたことや考えたことをノートに書いてくる。(希望があったら、コピーして資料を渡すことをあらかじめ伝えておく。)</p> </div>	<p>○次時は報告会へ向けての原稿を書くことを伝える。</p>

## 8 本時の学習（7／10）

(1) 目標 「〇〇のおくりもの報告会」へ向け、自分たちのテーマの課題を解決してまとめるために、これまで集めてきた情報の中からキーワードにそって効果的な読み方をすることができる。

(2) 展開

主な学習活動と内容	指導上の留意点 (○) 評価 (☆) 支援 (※)
<p>1 本時の課題をつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>「〇〇のおくりもの報告会」へ向けて伝えたいことをはっきりさせてまとめよう。</p> </div>	<p>○前時の感想を読み、本時への意欲を持たせて単元の言語活動を確認する。</p>
<p>2 課題を解決する。</p> <p>(1) 報告会の原稿の書き方を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 3つに分けて書く (序論・本論・結論)</li> <li>・ 本論の中身はキーワードを使って</li> </ul> <p>(2) 今日の成果をグループで確かめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ グループ</li> <li>・ 全体</li> </ul> <p>3 学習の振り返りをする。</p>	<p>○「〇〇の利用の仕方」「～の役目」「〇〇の働き」という前時までの言葉をキーワードにその自然から恩恵を受けていることに着目させる。</p> <p>○ノートをもとに誰がどの部分を書くのか分担する。原稿用紙の字数を確認しておく。</p> <p>○教材文やモデルを参考にできるように声をかけ、600字の字数制限の中で書くことができるように見通しを持たせて作業を進めさせる。</p> <p>○国語日記を書き、めあてにそって今日の学習を振り返る。</p> <p>☆自分の課題を見出すために、いろいろな書籍を読み比べて、疑問や調べる事柄を明らかにしながら読んでいる。</p> <p style="text-align: right;">(発言・話し合い・教材文)</p>
<p>4 次時の学習について知る。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p><b>家庭学習</b> 自分のテーマ (課題) にそって、〇〇のおくりものについて森林のおくりものと共通点を探しながらノートに自分の考えを書いてくる。</p> </div>	<p>○次時は報告会へ向けての原稿を仕上げることを伝える。</p>

## 8 本時の学習（8／10）

(1) 目標 「〇〇のおくりもの報告会」で報告するために、3つの視点をもとに伝えたい文章内容を的確におさえてまとめることができる。

(2) 展開

主な学習活動と内容	指導上の留意点 (○) 評価 (☆) 支援 (※)
<p>1 本時の課題をつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>「〇〇のおくりもの報告会」へ向けて利用や働きについて具体的にまとめられているか確認し、原稿を仕上げよう。</p> </div>	<p>○前時の感想を読み、本時への意欲を持たせて単元の言語活動を確認する。</p>
<p>2 課題を解決する。</p> <p>(1) 報告会の原稿の進み具合を確かめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・序論・本論・結論に分けて書くことができるか。</li> <li>・本論の中身はキーワードを使って書くことができるか。</li> <li>・おかげ、おくりものという言葉をもとに、自然から恩恵をうけていることに対しての自分の主張が入っているか。</li> </ul> <p>(2) 仕上げた原稿をグループで読み直して確かめる。</p> <p>(3) 今日の成果をグループで確かめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・グループ</li> <li>・全体</li> </ul> <p>3 学習の振り返りをする。</p>	<p>○「〇〇の利用の仕方」「～の役目」「〇〇の働き」という前時までの言葉をキーワードにその自然から恩恵を受けていることに着目させる。</p> <p>○これまでできているところを評価し、意欲化を図りながら進める。</p> <p>○視点を3つ確かめさせ、教材文で学んだことを活用できるようにする。</p> <p>○国語日記を書き、めあてにそって今日の学習を振り返る。</p> <p>☆目的に応じて文章内容を的確に押さえて伝えたいことをまとめている。 (発言・話し合い・原稿)</p>
<p>4 次時の学習について知る。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p><b>家庭学習</b> 自分のテーマ（課題）にそって、担当した部分もふまえ、どんな資料を示したら分かりやすいのか考えて提案できるようにしてくる。</p> </div>	<p>○次時は報告会へ向けての原稿を仕上げることを伝える。</p>

## 8 本時の学習（9／10）

(1) 目標 「〇〇のおくりもの報告会」で言いたいことが伝わるように、原稿の中身を考えて報告の仕方を工夫することができる。

(2) 展開

主な学習活動と内容	指導上の留意点 (○) 評価 (☆) 支援 (※)
<p>1 本時の課題をつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>「〇〇のおくりもの報告会」で言いたいことが伝わるように、報告の仕方を工夫しよう。</p> </div>	<p>○前時の感想を読み、本時への意欲を持たせて単元の言語活動を確認する。</p>
<p>2 課題を解決する。</p> <p>(1) 報告会の原稿をもとに自分たちの報告する内容が的確か練習する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文章の中の言葉で分かりにくい言葉はないか。</li> <li>・どこで間をとるのか。</li> <li>・報告のどこで資料を提示するのか。</li> </ul> <p>(2) 他のグループと報告を見せ合い、気のついたことを交流する。</p> <p>(3) 今日の成果をグループで確かめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・グループ</li> <li>・全体</li> </ul> <p>3 学習の振り返りをする。</p>	<p>○単に読み上げるのではなく、文章に言葉を入れたり、間をとったり、どこで資料を提示するのか考えたりできるような練習をさせる。</p> <p>○これまでできているところを評価し、意欲化を図りながら進める。</p> <p>○(1)で確認し合ったことをもとに交流ができるようにする。改善点は付箋に書いて原稿に貼らせて意識させる。</p> <p>○今日できたこと、改善点を明確にさせ、次時の報告会へ向けて準備ができるような話し合いの時間にする。</p> <p>○国語日記を書き、めあてにそって今日の学習を振り返る。</p> <p>☆本や文章全体を読み比べながら、目的に応じて文章全体を的確に押さえて自分たちのまとめに生かしている。</p> <p style="text-align: right;">(発言・話し合い・原稿)</p>
<p>4 次時の学習について知る。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p><b>家庭学習</b> 自分たちのグループの報告についての自まん（いいところ）をノートにまとめてくる。「序論では…」「本論には…」「結論では…」</p> </div>	<p>○次時は報告会を開くことを伝える。</p>

## 8 本時の学習（10／10）

(1) 目標 「〇〇のおくりもの」報告会で今まで知らなかったことや新たに発見したことについて、友だちから情報を収集し、課題解決に向けて気づいたことを伝え合うことができる。

(2) 展開

主な学習活動と内容	指導上の留意点 (○) 評価 (☆) 支援 (※)
<p>1 本時の課題をつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>「〇〇のおくりもの報告会」で自然と人間とのかかわりについて報告し合い、気づいたことを伝え合おう。</p> </div>	<p>○前時の感想を読み、本時への意欲を持たせて単元の言語活動を確認する。</p>
<p>2 課題を解決する。</p> <p>(1) 報告会の原稿をもとにグループの練習をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文章の中の言葉で分かりにくい言葉ははないか。</li> <li>・どこで間をとるのか。</li> <li>・報告のどこで資料を提示するのか。</li> </ul> <p>(2) 「〇〇のおくりもの」報告会をする。</p> <p>(3) 今日の成果をグループで確かめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・グループ</li> <li>・全体</li> </ul> <p>3 学習の振り返りをする。</p>	<p>※ビデオを撮る。→来年度へ向けて</p> <p>○これまでやってきたことを出し切れるように確かめながら練習することを伝える。</p> <p>○これまでできているところを評価し、意欲化を図りながら進める。</p> <p>○報告を聞く時は付箋にメモを取りながらきかせる。そのグループにしか言えない感想を書かせる。</p> <p>○今日できたこと、改善点を明確にさせる時間にさせる。</p> <p>○国語日記を書き、めあてにそって今日の学習を振り返る。</p> <p>☆自分の課題を解決したいという願いを持ち、友だちの報告から情報を多面的に收拾しようとしている。</p> <p style="text-align: right;">(発言・話し合い・原稿)</p>
<p>4 次時の学習について知る。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p><b>家庭学習</b></p> <p>自分たちのグループの報告についての自まん (いいところ) をノートにまとめてくる。「序論では…」 「本論には…」 「結論では…」</p> </div>	<p>○説明文を読む時にも今回つけた力をつけて積み重ねていくことを伝える。</p>